

審議経過報告

- ①学術研究推進のための研究資金
制度のあり方に関する検討委員会
- ②原子力発電の将来検討分科会

2017年4月13日

日本学術会議 第173回総会
大西隆

- ①学術研究推進のための研究資金
制度のあり方に関する検討委員会

審議項目

- ・目的・動機・主体から見た科学研究の構造及び
研究資金の推移と現状について
- ・研究成果の評価から見た研究資金制度が持つ
課題について
- ・科学研究に対する国・民間の資金投入のあり方
について

設置時期 2015年6月

審議経過 2017年4月7日に第11回委員会を開催。

■提言(案)の構成

- はじめに
- 1. 日本の科学研究資金の動向と検討すべきテーマ
- 2. 基盤的経費と競争的資金に関する現状と課題
- 3. 民間企業から大学等への研究資金の流れの現状と課題
- 4. 間接経費に関する現状と課題
- 5. 研究施設整備に関する現状と課題
- 6. 導かれる提言

■提言内容の骨子(案)

1. 大学及び公的研究機関への公的研究投資の拡充
2. 研究資金のバランスの取れた配分
3. 若手研究者の育成強化
4. 産学の共同研究の推進
5. 機関連携による共同研究の大型化
6. 産学協同における経費概念の拡充・間接経費の充実
7. 研究施設・設備の充実と共同利用の促進

②我が国の原子力発電のあり方 —東京電力福島第一原子力発電所事故の教訓

原子力利用の将来像についての検討委員会

原子力発電の将来検討分科会

審議項目

- ・事故は起こり得るという前提に立った原子力発電所の安全管理(体制並びに基準)の評価
- ・新設あるいは定期点検原発再稼働に関わる安全基準とその実現可能性
- ・重大事故なしという「神話」に立たない原子力発電所の社会的費用便益
- ・他国における原子力安全対策及び原子力発電に関わる政府の方針

審議経過 第22期 9回開催

第23期 2017年4月6日に第7回分科会開催

■提言(案)の構成

1. 原子力発電に関わる日本学術会議の活動
2. 東電福島第一原発事故とその引き起こした問題
3. 原発と安全問題
4. 原発の費用、リスクと電力供給における役割
5. 原発をめぐるリスクへの対応、倫理問題、合意形成
6. 提言

■提言内容の骨子(案)

1. 東電福島第一原発事故の被災者の健康管理・生活
再建を被災地域の復興
2. 安全性に関するバックフィットの徹底
3. 自然現象やテロ・犯罪からの安全確保
4. 使用済み核燃料と高レベル放射性廃棄物の管理・処分
5. 再生可能エネルギーの基幹化によるエネルギー供給
方法の転換
6. 安全性と代替エネルギー手段を踏まえた原発のあり方
に関する国民合意
7. 原子力平和利用における日本学術会議の責任と役割